



**プログラミング教育の充実** 1,303万円

ロボット型情報端末を活用したプログラミング体験事業のほか、IT企業と連携し、AIなど最先端のデジタル分野を体験する教室を実施します。

◀プログラミング授業で使用するロボット型端末。今年度中に市内の全小学校で出前授業を行います

**中学校部活動指導員の増員配置** 515万円

希望校へ15人配置し、部活動の質的向上を図るとともに、教職員の負担を軽減します。

**安心・安全で快適な教育環境の整備**

33億2,986万円

上川西小・豊田小・越路小・西中学校などで校舎増築・大規模改造工事、トイレの洋式化などを進めます。

**大手通坂之上町地区市街地再開発事業の推進** 9億6,750万円

施行者であるUR都市機構が行う実施設計などを支援します。



完成イメージ

▲3月13日に国の認可を受けた再開発の事業区域は、北越銀行本店や旧大和長岡店がある約1.7ヘクタール。全4棟に商業施設や銀行、住宅などを設け、2025年完成予定です。市は「人づくり・学び・交流エリア」を整備します(ページ右上)

**教育**

**「米百俵プレイス(仮称)」の「人づくり・学び・交流エリア」を整備** 11億1,900万円

大手通坂之上町地区市街地再開発事業(ページ左下)で整備する人づくりと産業振興の拠点「米百俵プレイス(仮称)」の中に設ける同エリアの実施設計などを行います。

**特別支援学級等の介助員の増員**

2億1,906万円



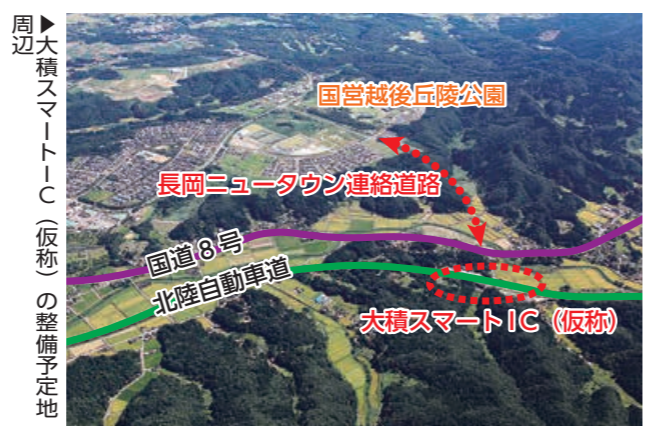
支援や配慮が必要な児童・生徒に対応する介助員を10人増員し、158人を配置します。

◀児童に学習支援をする介助員

**高等総合支援学校の自力通学が困難な生徒への支援** 870万円

**都市整備**

**大積スマートIC(仮称)の早期事業化に向けた詳細検討と周辺道路の整備** 6,700万円



▶大積スマートIC(仮称)の整備予定地

**左岸バイパス南北延伸の推進**

8億3,410万円

**1 人材育成と未来への投資**

**外国人人材の活躍のための環境整備**

192万円

専門技能・技術を持つ外国人人材の受け入れ体制を整備します。留学生向け企業見学会を開催し、留学生と企業がつながる機会を拡充。国際交流センターにベトナム語通訳者を配置するほか、多言語通訳コールセンターや音声翻訳機を導入し、多言語対応を強化します。



◀国際交流センターの生活相談コーナー。英語と中国語に加え、今年度からベトナム語でも対応します

**労働力の確保への支援**

7,005万円

地元就職やU・Iターン就職の促進のほか、学生のインターンシップ(入社前の就業体験)参加の支援や市内の団体・企業と市が連携して進める「ながおか働き方プラス応援プロジェクト」により企業の働き方改革を推進します。

▶首都圏の大学生向けの市内企業見学会(昨年8月29日)



**長岡北スマート流通産業団地の整備と分譲促進**

2,033万円

**企業へのIoT\*導入を促進**

1,179万円

市内のIT事業者や産学官金などからなる長岡市IoT推進ラボで、産業現場の課題解決に向けたシステムを開発。IT、IoT導入のための設備投資への支援を拡充します。

\*IoT(アイオーティー)…身の回りのあらゆるモノがインターネットにつながる仕組み(Internet of Thingsの略)

**産業・働く場**

**NaDeC構想の推進**

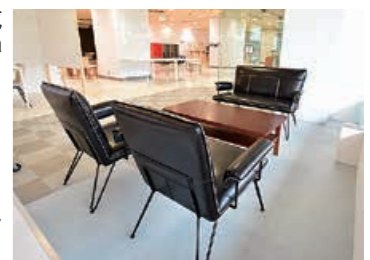
1,858万円

NaDeC BASE(大手通2)で教員・企業人によるトーク会や学生ワークショップを開催し、産学の交流を促進。3Dプリンターなどの機器の充実やコワーキングスペース(共有オフィス)の提供により、「つくる」「働く」「つながる」活動を支援します。



▲企業と教職員、学生が気軽な雰囲気であらゆるモノがインターネットにつながる仕組み(Internet of Thingsの略)

▶無料で使えるコワーキングスペース



**イノベーションモデルプロジェクトの実施**

2,309万円

介護やAI(人工知能)などの分野における課題解決や事業化に取り組む産学官連携の活動を実施。異業種の活動や交流を促進するための外部人材を活用します。

**新規漁業就業者の確保・育成への支援**

240万円

漁業の担い手を育成するため、新規就業者を雇用する沿岸漁業者を支援します。